

スポーツ・武道実践科学系

氏名

しもかわみか
下川美佳

助教



主な研究テーマ

□ 剣道の稽古を通じて、剣道を正しく理解し、実践、指導することで、稽古法及び指導法の研究を行っています。

平成25年度の研究内容とその成果

私の専門領域である剣道は、「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」を理念に掲げ、「わざ」と「こころ」の事理一致による修練を通じて、真の自己のあり方を求める修行です。剣道は、自得・体得が基本ですが、この大きな目標に対して、同じように「道」を志す学生とともに、日々精進しているところです。

授業や部活動を通じた稽古法や指導法の研究と実践により、学生の剣道技術向上に努め、全日本女子学生剣道選手権大会において優勝という結果を得ました。また、審判技術向上のための研究と実践や、自身の剣道技術向上に取り組んだ結果、学外での審判や実技指導の際にも役立ちました。「鹿屋杯」の開催においては、本学の武道専門教育による社会貢献事業と位置づけ、日頃の修練の成果を発表する場と捉えて、開催・運営を行っております。

- ・全日本剣道連盟の実施する女子強化訓練講習会の指定強化選手に2名選出
- ・全日本女子学生剣道選手権大会での優勝
- ・各種大会における審判の実施および学生

審判の派遣

- ・国内外での剣道実技指導
- ・各種大会や式典等での講演及び実技演武
- ・第9回「鹿屋杯」全国高等学校選抜剣道錬成大会の開催

上記の内容は、日頃の修練（研究活動）において得られた成果です。

これからの研究の展望

今後も日々の稽古の中で、「わざ」と「こころ」を磨き、体験を活かした稽古法及び指導法の研究と実践を行って、現場に還元できるようさらに研究を進めたいと考えております。また、剣道は世界大会も実施されており、国際的に普及しつつあります。これらの研究成果が、更なる剣道の普及と正しい剣道の伝承・継承に役立つよう、国内はもちろんのこと海外にも発信していきたいと考えます。